

# 認定介護福祉士

## 介護福祉士のキャリアアップのための新しい仕組み

利用者ニーズの多様化や高度化に対応する質の高い介護実践、介護職の指導・教育、医療職等との連携強化など、幅広い役割を担う介護福祉士が求められてきています。

これからは、利用者の増加に伴い、介護職としての能力や知識に幅のあるメンバーをチームリーダーとしてとりまとめ、サービスの質の改善のために教育・指導等の育成に取り組むことも重要になってくるでしょう。さらに、これからの地域包括ケアの推進には、利用者に寄り添う専門職として、より広い視野をもった介護福祉士が必要になってきます。

介護福祉士には、資質向上の責務が課せられていることから、今後はさらに介護福祉士のキャリアパスが重要になってきます。

認定介護福祉士は、継続的な教育機会を提供し、資質の向上を図っていく介護福祉士のための仕組みです。

## 認定介護福祉士になるには

認定介護福祉士になるためには、必要な知識や技術などを獲得するため、認定介護福祉士養成研修を受講し、全科目を修了する必要があります。

認定介護福祉士は、介護福祉士に資質向上の責務があることから、更新制を取り入れた仕組みです。

### 【研修受講要件】

- 介護福祉士としての実務経験
- 介護福祉士としての一定のレベルを身につけていること（研修等の受講歴等）など

### 認定介護福祉士養成研修（総時間数 600 時間）

領域	科目	内容
認定介護福祉士養成研修導入	認定介護福祉士概論	認定介護福祉士に求められる役割と実践力について
医療に関する領域	疾患・障害等のある人への生活支援・連携Ⅰ	介護場面で必要となる、疾病や症状に関連した解剖生理、病態生理の基礎的な知識
	疾患・障害等のある人への生活支援・連携Ⅱ	利用者の状態から、医療職との連携・協働を行うために必要な視点と知識等
	疾患・障害等のある人への生活支援・連携Ⅲ	高齢者・障害者の疾患や障害等について、機序、症状、治療法・薬理作用等を理解し、生活支援、連携、職員指導に活用できる知識・技術
リハビリテーションに関する領域	生活支援のための運動学	自立に向けた生活支援のための運動器等の解剖・生理、身体運動の基礎的な知識等
	生活支援のためのリハビリテーションの知識	生活支援においてリハビリの知識等を活かす考え方やリハビリ職との連携・協働を行うために必要な視点と知識等
	自立に向けた生活をするための支援の実践	利用者の疾患・障害等に応じた適切な生活支援を選択・実施、介護職チームの指導を行うために必要な知識等
福祉用具・住環境に関する領域	福祉用具と住環境	介護場面に応じた適切な福祉用具等の選定や支援、住環境の評価や整備に必要な知識・技術
認知症に関する領域	認知症のある人への生活支援・連携	認知症の生活支援に必要な基礎的な知識を習得し、症状や使用している薬等から利用者の状態を分析し他職種連携を行うために必要な視点と知識等
	心理的支援の知識・技術	生活支援における心理的支援やリーダーとして介護職チームに対する心理的支援に必要な知識・技術
	地域生活の継続と家族支援	利用者に対する地域とのかかわりを支援するために必要な知識・技術
生活支援・介護過程に関する領域	地域に対するプログラムの企画	地域包括ケアシステムや地域の資源活用・開発など、地域全体に対する支援やかかわりに必要な知識
	認定介護福祉士としての介護実践の視点	根拠に基づいた介護の考え方や介護過程、自立支援のための介護実践の視点について
	個別介護計画作成と記録の演習	個別支援計画の分析・評価する視点を学び、総合的な個別支援計画作成に必要なポイント
マネジメントに関する領域	自職場事例を用いた演習	利用者の全人的理解や他専門職からの情報等を統合し、適切なアセスメントによる個別支援計画を作成・評価し、指導に必要な知識
	介護サービスの特性と求められるリーダーシップ、人的資源の管理	介護サービスの性質やモチベーション・リーダーシップ、キャリアに関する基礎的な理論、自分やメンバーのタイプを把握するとともに理論を実際に活用する方法
	チームマネジメント	チームマネジメントの考え方、他職種連携やチームが機能するための基礎知識・理論、組織行動論の理論に基づいた自職場の分析・改革していく視点
	法令理解と組織運営	関連法規・制度、組織運営のルールを理解するとともに、これらを踏まえた指導や日常的に発生しやすいリスクの発見と解決能力の向上と、早期解決に必要な知識等
	介護業務の標準化と質の管理	自職場のサービスの質の管理と改善に向けた検討に必要な基本的理論・手法
	介護分野の人材育成と学習支援	介護分野の人材育成について、個々の人材育成、組織としての人材育成における「学習する組織」の重要性、地域包括ケアをふまえた社会環境づくり等に必要な知識や技術
自立に向けた介護実践の指導領域	応用的生活支援の展開と指導	応用的な支援計画と自己実現を支援する実践の指導
	地域における介護実践の展開	介護チームづくり等を含めた利用者の地域生活を継続するためのアクションプランの作成

認定介護福祉士認証・認定機構 URL: <https://www.jaccw.or.jp/nintei/>  
〒112-0004 東京都文京区後楽1丁目1番13号  
小野水道橋ビル5階 日本介護福祉士会内  
TEL: 03-5615-9499 FAX: 03-5615-9296



## 認定介護福祉士のねらい

認定介護福祉士は、介護福祉士の資格取得後も継続的な教育機会を提供し、資質の向上を図り、社会的な要請に応えていくことを目的につくられた、介護福祉士のための仕組みです。

- 生活を支える専門職としての介護福祉士の資質を高め、
  - ①利用者のQOLの向上
  - ②介護と医療の連携強化と適切な役割分担の促進
  - ③地域包括ケアの推進 など
 介護サービスの高度化に対する社会的な要請に応える。
- 介護の根拠を言語化して他職種に説明し共有したり、他職種からの情報や助言の内容を適切に介護職チーム内で共有することで、他職種との連携内容をより適切に介護サービスに反映することに寄与する
- 介護福祉士の資格取得後の継続的かつ広がりを持った現任研修の受講促進と資質の向上を図る。つまり、介護福祉士資格取得後も介護業界で努力し続け、継続的に自己研鑽する拠り所となる。
- 介護福祉士の資格取得後のキャリアパスの形成。

## 認定介護福祉士の効果

認定介護福祉士は、自宅であっても、施設であってもその人が社会生活を営む“人”であることを理解し、その人の人格を尊重した、また、QOLを大切に生活支援・自立支援を自ら実践するとともに、介護職チームに浸透させ、関連する専門職、地域と連携・協働し、その人らしく生きられるようにQOLの向上を図るため、利用者、事業所、地域にさまざまな効果をもたらします。

### サービスの質の向上

- より専門的知識・技術をもった介護サービス提供
- 他職種との連携内容をより適切にサービスに反映
- 介護職への指導によって、介護サービスの質の向上
- 認定介護福祉士の活躍をもって、介護職のモチベーションアップ

### 効果的・効率的な運用

- 介護と看護、介護とリハビリテーション等の連携が促進・強化
- 効率的な介護人材活用
- サービス管理ツール等の開発・改良

### 介護サービスにおける連携

- 介護と医療等の事業所間の連携・協働
- 医療の必要性が高くても、早期に退院し、施設や在宅で生活できる
- 重度の認知症となっても地域生活が継続できる
- 地域における介護力の向上

利用者の  
QOL向上

介護人材  
不足の解消

地域包括ケア  
の推進

## 認定介護福祉士が獲得する実践力と期待される役割

認定介護福祉士とは、居住・施設系サービスを問わず、多様な利用者・生活環境、サービス提供形態等に対応して、より質の高い介護実践や介護サービスマネジメント、介護と医療の連携強化、地域包括ケア等に対応するための考え方や知識、技術等を認定介護福祉士養成研修で修得した介護福祉士のことです。

### 地域とかかわる力

- 家族に対して、生活環境の整備、相談援助等ができることで、家族の不安を軽減し、適切なかわりを支援する。
- 地域におけるボランティア、家族介護者、介護福祉士等への介護に関する助言・支援ができる。
- 施設・事業所の介護力を地域の人々のために活用できる。
- 介護に関する地域ニーズを把握・分析することができる。

### 十分な介護実践力

- どのような利用者に対しても、最善の個別ケアの提供ができる。
- リハビリテーション等の知識を応用した介護を計画・提供でき、利用者の生活機能を維持・向上させることができる。
  - 認知症のBPSDを軽減させることができる。
  - 障害特性に応じた介護が提供できる。
  - 心理的ケア、人生の最終段階における支援を実践できる。

地域における介護力向上のための助言・支援をする者

事業所や施設の介護サービスマネージャー

認定介護福祉士

介護サービス提供における連携の中核となる者


- 他職種からの情報や助言を適切に理解し、介護職チーム内で共有し、適切な介護に結びつける。
- 利用者の日ごとの生活状況と、それを踏まえた介護の実践内容を、論理立てて他職種に伝える。
- 利用者の状態像の変化に気づき、その状況を適切に他職種に伝え、連携を図ることで、利用者の状態像の悪化を最小限に止めることに寄与する。

### 他職種とそのチームと連携・協働する力


- 介護職チームの管理・運用を行い、介護サービスマネジメントや人材育成に責任を持ち、上司等にも働きかける。
- 介護計画に利用者や家族のニーズが反映されるようアドバイスをするとともに組織的に介護サービスが提供できるように取り組む。
  - 介護の根拠を説明し、指導するとともに内省を習慣づける。
- 記録様式などサービス管理に必要なツールを改善・開発できる。
- 介護職チームの意識改革、サービスの提供方法や提供体制の改善、研修プログラムの編成等を行い、新しい知識・技術・実践をチームに浸透させることができる。

### 介護職チームのリーダーへの教育・指導、介護サービスのマネジメントを行う力


## 認定介護福祉士の活躍の場（例）




- 事業所や施設の介護職チームへの指導
- 事業所や施設の介護サービスマネジメント




- 医療ニーズの高い利用者の主治医や訪問看護、リハ等と連携



- 地域の介護に係る多様な人材（ボランティア、家族介護者等）への助言・指導
- 地域の介護福祉士との交流会等で助言
- 地域の学校等へ介護講座・授業の講師
- 自治会等へ介護出前講座



- 在宅療養中利用者への介護サービスマネジメント（定期巡回・随時対応型訪問介護看護 他）
- 自宅における人生の最終段階における支援
- 重度認知症者の在宅支援



- 行政や他職種と連携・協働で地域包括ケアの推進
- 地域包括支援センターで介護相談等



- 地域の介護に係る多様な人材（ボランティア、家族介護者等）への助言・指導
- 地域の介護福祉士との交流会等で助言
- 地域の学校等へ介護講座・授業の講師
- 自治会等へ介護出前講座